



前田分会長に対する「ウソ」 「引きまわし」「取消し」「日 勤」を許さないぞ!

会社は、「54歳原則出向」によってJR東海労への組織破壊を企てています。しかし、本人の同意のない出向は無効であり、この度、下茂さん、西さんが出向の無効を訴えて会社を訴えました。昨年9月、会社は、下茂さん、西さんを含めた4名（大阪運輸所分会前田分会長、新幹線関西地本浦谷書記長）に対して強制出向を通知しました。しかし、出向先会社に労基法違反となる問題があり私たちが暴露した結果、会社は急遽、4名の出向を取消しました。

社員の生活を混乱に陥れる会社!

しかし、なりふり構わない会社は下茂さん、西さんに新たな出向を命じました。そして同じく出向の通知を受けた前田分会長に対しては、倉庫での商品仕分け作業となる出向会社への通知を行いました。新幹線乗務員の業務とはまったく関係のない業務への出向は不当であります。さらに会社が、出向先の会社との面談も行わずに出向に行かそうとしていたことも明らかになりました。

会社が捏造! 「出向面談は必要なし」

本人、組合による諦めない抗議によって面談が実施されることになりましたが、事前に説明された就労条件に違いがありました。前田分会長は、自ら会社の勤務の扱いに対する大阪地裁の原告であることと、労基署への情報提供者であることなども申告しました。

翌日、出勤するとまたしても出向取消しの通知がされたのです。本人、家族は生活や環境が変わる準備や心労を費やしていましたが、繰り返す会社は謝罪や取消した理由は明らかにしていません。会社は、JR東海労組合員に対し、明らかな出向拒否を訴えているにもかかわらず様々な企業への出向を伝えては取り消すということを繰り返し、組合員らの生活を混乱に陥れています。

異常な心身状態での運転操縦を強要!

当日、出向を取り消された前田分会長は、ロッカー室の荷物も片付けた状態で乗務に就くことを指示されました。このような異常な精神状態で乗務に就くことは安全上、問題があり、乗務を外した勤務にしたい就きたい旨を申告しましたが、会社は一切聞き入れませんでした。

前田分会長は、出向取り消しが通知された2回目の乗務において運転操作を誤りました。これは、会社による「引き回し」によって、集中できなかったことが最大の原因です。職場では「日勤」による締め付けがやられています。

